

乾燥機

の使い方

洗濯物を乾燥機で乾かし、さっさと片付けましょう。
アイロンも簡単にかけて、家事も楽チン。
余った時間に、美味しいお料理に挑戦して、ベルギーライフを楽しみませんか？



寒い冬の訪れが間近です。冬場は日照時間が短く、洗濯物が乾きにくくなります。それだけでなくアパートメントでは洗濯物を外に干せず、室内で自然乾燥させていませんか。湿気の少ないベルギーといえども、洗濯物を室内で乾かすと、部屋が湿気て、気がつくと天井や壁の隅にカビが生えることがあります。カビの生えた部屋は健康に悪いだけでなく、そのカビを取り除くのにも苦労します。

さて、たまった洗濯物は早く乾かして、アイロンをかけ、すぐに仕舞いたいですね。そのためには、乾燥機が活躍します。これからの時期は、洗い終わった洋服を乾燥機で乾かし、すっきりさせましょう。

ここで、注意してほしいことがあります。乾燥機に洗ったものをまとめて突っ込まないでください。木綿製品の乾燥には、かなりの時間が必要です。反対にポリエステル製の洋服は、すぐに乾燥します。洗濯を同時にしても、乾燥は時間差でするのが賢いですね。また、デリケートな衣類などは乾燥機に入れないほうが賢明です。

木綿製品でアイロンがけが必要なものは、完全に乾かさなくて、ちょっと湿っぽい程度で乾燥を終わらせ、すぐにアイロンをかけると、スティームなしでも綺麗に仕上がります。子どものTシャツやズボンなどは、乾燥が終わってからすぐに取り出すと、アイロンをかけなくてもいいくらい皺なしで仕上がります。

では、実際に乾燥機を使って木綿製品を乾燥させましょう。乾燥機も洗濯機と同じく、洗濯物を回転させながら乾燥させます。したがって、ドラムの中一杯に洗濯物を入れると、温風が行き渡らず乾燥しないで時間だけが経過してしまいます。ドラムの中には、半分から2/3くらいまでの洗濯物を入れて乾燥させましょう。木綿製品といえども、シーツやブラウスなどの薄手のものから、バスタオルなど厚手のものまでがあります。薄手のものは、30～40分くらい乾燥させると十分です。厚手のものは、1時間30分くらいの乾燥が必要ですが、仕上がったタオルを触ると購入したばかりのようにふわふわになり、入浴が楽しくなります。冬場に乾きにくい厚手の木綿は、乾燥機のお世話になりましょう。シングルサイズの羽根布団も自宅で洗濯して(60°C)、乾燥機に入れると元のようにふわふわに仕上がります。

ポリエステル製の衣類は、洗濯後脱水が十分されていれば、そのままハンガーにかけて室内乾燥させることもできます。木綿製品同様、アイロンがけを楽にしたい場合は、20～30分乾燥機で乾燥させて、その後すぐにアイロンを。しわが残らず、新品のような仕上がりになります。

靴下やパンツなどの下着はゴムの部分があるので、乾燥機に入れないほうが長持ちします。邪魔にならないよう風呂に入った後の浴室や、台所の隅で乾かし、しっかり換気をして室内にカビが生えないようにしましょう。

乾燥機の操作は、いたって簡単です。取り扱い説明書をよく読んで、温度調整や乾燥時間を設定し、スイッチを押すだけです。忘れてはいけないのは、時々乾燥機内にたまった埃を取り除くこと。ドアの下部分(写真下)に埃がたまるように作られています。この埃をマメに取り除いて、乾燥機を十分活用してください。洗濯機兼乾燥機の場合は、洗濯時に洗濯するものを仕分けする必要があります。すべてを一緒に乾燥させて、ポリエステル製品を傷めないよう注意してください。